

鏡面インキシルバーTC-NP 2 液型

鏡面インキ TC-NP シルクスクリーン印刷とUVオフセット印刷の複合

東南インキ株式会社

TEL:072-266-3216

1、 用途

高級ブランドクリアーパッケージや高級ブランド手提げ袋等、PP Film・PET Film（透明素材）への印刷にご使用下さい。

蒸着箔との比較におきまして、UVオフセットカラー印刷と鏡面シルクスクリーン印刷との組み合わせによりデザイン幅が広がります。

2、 印刷方法

PP Film・PET Film 等の裏面へUVオフセットにてカラー印刷



次に、裏面へシルクスクリーンにて鏡面印刷

Film 表面から見る風合い



（カラー裏面の鏡面印刷部分は高輝度なカラーメタリックに仕上がります。）

（Film 裏面の鏡面印刷部分はシルバー色鏡面仕上がりになります。）



更にシルクスクリーンにて鏡面印刷の裏面への押さえ印刷

（押さえ印刷はデザインにより必要であれば行って下さい。）

例：パッケージを外側から見て裏面のシルバー色が見えても問題ない

場合には押さえ印刷は必要ありません。

又、外側から見て裏面のシルバー色よりも押さえインキの色が見えた方が良い

場合には押さえ印刷を行って下さい。

3、 印刷時の注意点

鏡面インキシルバーTC-NP は必ず 2 液にてご使用下さい。

（2 液でないと PP Film 及びUVオフセットインキの上には密着しません。）

印刷直前に鏡面インキシルバーTC-NP：100 に対して、

専用硬化剤 Z-1 硬化剤を 1～2 % 添加し充分に混ぜ印刷を行ってください。

鏡面インキシルバーTC-NP 1kg に対して、Z-1 硬化剤を 10g~20g 添加

硬化剤は 2%以上入れすぎると鏡面性がかなり劣ります。又、タックが発生しプロ

ッキングの恐れがありますのでご注意ください。)

*硬化剤を添加した鏡面インキは印刷当日のみご使用可能です。

4、 鏡面インキの保存について注意点等

- ・鏡面インキは常温(約 25℃)、密封にて保管を行ってください。
容器を密封した状態でも、経時で分離したりインキが硬くなることがありますが、よく攪拌すると元に戻ります。
- ・密封をせず溶剤が多く揮発した鏡面インキはアルミ顔料同士が付着してしまい、鏡面性が劣ります。
この場合溶剤希釈を行っても元に戻りません。
- ・湿度の高い状態で鏡面印刷を行うと目詰まり、ムラが出やすくなり、インキがゲル化する場合があります。湿度は60%以下の設定が望ましいです。
- ・繰り返し使用した鏡面インキは鏡面性が劣ります。
この場合には新しい鏡面インキと混ぜ合わせ調整を行ってください。
保管は新しい製品と古い製品を分け管理してください。
- ・鏡面インキの品質保証期間は未開封製品にて製造ロットより6ヶ月となります。
- ・(参考) 社内試験では製造後1年経った製品(未開封)におきましても問題なく印刷が出来ました。

5、 鏡面インキのメッシュ（版）（乾燥）について

- ・鏡面インキシルバーTC-NP の推奨版は 250~300mesh
デザインや目的の隠蔽性により使用版をご検討下さい。
- ・版の膜厚に関しましての指定は特にございせん。
 - ・ 強制乾燥 60℃×30 分
80℃×20 分

以上